

様式

会議録

会議の名称	令和元年度第2回本庄市廃棄物減量等推進審議会
開催日時	令和元年10月30日(水) 午後1時30分から 午後3時00分まで
開催場所	本庄市役所 504会議室
出席者	委員：委員10名 事務局：本庄市環境推進課／出牛課長、関根課長補佐
欠席者	委員6名
議題 (次第)	1. 開会 2. 会長あいさつ 3. 議題 答申に基づく施策の取組状況について 4. その他 5. 閉会
配付資料	答申に基づく施策の取組状況について
その他特記事項	無し
主管課	経済環境部環境推進課

様式

会議の経過	
発言者	発言内容・決定事項等
1. 開会	
事務局	開会のあいさつ
2. 会長あいさつ	
会長	会長のあいさつ
事務局	「本庄市廃棄物の排出の抑制及び適正処理の促進に関する規則第5条第2項」では、「審議会は、委員の2分の1以上の者の出席がなければ会議を開くことができない」と規定しております。本日、出席していただいている委員さんは16名中10名でありますので、定数に足りていることをご報告いたします。なお、本日の傍聴希望はありません。
会長	事務局より、配付資料の確認をお願いします。
事務局	配付資料の確認
3. 答申に基づく施策の取組状況について	
事務局	答申に基づく施策の取組状況について説明。
会長	答申に基づく施策の取組状況について、質疑がある方はお願いします。
委員	市役所や学校から排出される機密性の高い文書はどのように処分しているのでしょうか。
事務局	市の文書廃棄は、行政管理課主管で専用のコンテナを使用し適正に廃棄しています。
委員	民間事業者でも、行政のように文書廃棄できるよう、専門業者を紹介するなどしたらしいのではないでしょうか。
事務局	事業所の紹介は市役所として難しいところがありますが、事業所から排出される文書等の再資源化についての広報はしていけると思います。
会長	行政では、庁舎だけでなく学校等でも文書廃棄されるので再資源化されているかの確認をしているのでしょうか。
事務局	行政での文書廃棄の際は、排出された文書を溶かすところまでは職員が確認しています。
会長	例えば、小規模の事業所等に対して、文書廃棄及び再資源化について呼び掛けをしていけたらいいと思うのですがいかがでしょうか。
事務局	事業処理ガイドブックには協力店として事業所を紹介しているので、こちらに相談していただくよう案内したいと思います。
会長	その他に何かございますか。
委員	資料にある多量排出業者は何社くらいありますか。
事務局	市では排出量が多い事業者を訪問しているところです。今年、児玉郡市広域市町村圏組合で予定している取組といったしましては、本庄市では排出量上位20社、郡内の町では上位10社の計50社を対象に講習会を予定してい

様式

	ます。
委員	違反がある場合の対応として指導とあるがどういった指導をしているのでしょうか。
事務局	廃棄物の排出方法について契約書等を確認することと併せて適正に排出するよう案内をしています。
委員	事業所は廃棄物を専門に担当する職員を配置していないのでしょうか。
事務局	事業所によると思うのですが、事務職の方が担当している場合が多いようでした。一番多い問題としては、プラごみを事業系一般廃棄物として処分してしまっている事業所が多いと感じています。
委員	窓付きの封筒は紙として処分したら良いか廃プラとして処分したら良いか廃棄する際に迷うことがあるのでその辺りの指導についてはどのようにお考えでしょうか。
事務局	難しいところでありますので、その辺りの周知を進めるにあたって、今回新しくガイドブックを作成した次第です。事業系ごみは量も多いので、組合でも力をいれていきたいと思っているところです。
委員	窓付き封筒についてですが、種類が多くあり分別が難しいものの一つであると感じます。市からの郵便物も窓付き封筒が使われていることがありますので、行政としても窓付き封筒を使用しないなどといった廃プラの削減に取り組んでいただきたいと思います。併せて、窓付き封筒の廃棄方法についても市民へ周知していただきたいと思います。
事務局	市からの発送文書につきましては、圧着はがきに切り替えている部署もあるようですが、窓付き封筒を使用している部署もあるようです。費用面での課題もありますが、今後市としても取り組んでいくべきであると考えます。
委員	分別する際の基準等があればと思うのですがそういった基準を作つてみるのはどうでしょうか。
会長	確かにダイレクトメールでも分別に迷うことがあります。例えば、複数の人で共有できるような分別の基準を提示してもらうというのは、行政側でもできると思うのですが事務局どうでしょうか。
事務局	雑紙の分別につきましてはホームページで案内をしています。 事業系廃棄物につきましてはガイドブックに明記して周知しているところです。
会長	実際に分別方法について市民や事業者が直接目にする機会が増えると理解が深まると思います。
委員	市で実施している3Rパネル展等の機会を利用して啓発するのが良いと思います。
委員	先日、クリーンセンターを見学した際にいただいたパンフレットがとても

様式

	わかりやすいものでしたのでぜひ周知する際の参考にしていただけたらと思います。
会長	廃棄物の減量化に向けては、アプリケーションやカレンダー等各自治体によって様々な取組がされていますので、本庄市としても更なる施策に取り組んでいただきたいと考えます。 続きまして、廃棄物の減量化に向けた取組について、既にご意見いただいているところではありますが、皆様からご意見を伺えたらと思います。まずは、本庄市の取組について事務局よりご紹介いたします。
事務局	今年度の取組について事務局より説明
会長	今年は、搬入ごみの有料化に伴い駆け込みで搬入ごみが増加しているとのことです。以前より水切り器等の取り組みを進めていますので、取組の結果を数字で得たいところです。市が積極的に環境問題に取り組み、市民の環境に対する意識が高いということが本庄市の魅力の一つとしてアピールできれば、そのことが移住定住にも繋がってくると思っております。ぜひ皆様からごみの減量についてご意見をいただきたいと思います。
委員	先日参加した講習会で、生ごみの減量の取組方法として新聞紙を活用した取組を知りました。水切り運動の取組の一つとしていかがでしょうか。
事務局	生ごみ水切り運動ですが、㈱カインズと官民共同開発で水切り器を開発し販売しているところでございますが、現在、新しい自立式の水切りネットの販売に向けて進めているところです。今年度中には、ご報告させていただく予定です。
会長	生ごみの水切り運動の一つということで、㈱カインズとの取組であったり、先ほどの新聞紙での取組など今後に向けて広い展開をしていくと良いと思います。他にご意見ございますか。
委員	段ボールや新聞紙等の集団資源回収は天候が悪いと実施されないため、数ヶ月排出できないこともあります。月に何回か排出できることもあり、開催日に偏りがみられます。雑紙等は溜まってしまうと可燃ごみとして排出されてしまうことがあるため、毎月排出できる仕組みがあれば、可燃ごみとして排出する雑紙を減らすことができるのではないかでしょうか。
委員	児玉地域は月に一度支所で収集しているようですが。
会長	本庄地域はどうですか。
事務局	本庄地域の収集については、南公民館では毎月第2土曜日、市役所の駐車場では第3日曜日に紙類、布類、金属類の回収をしています。このことは広報でも毎月お知らせをしています。
会長	先ほどのケースのように、集団資源回収が実施できないといったことが続くと大量の廃棄物を家に保管するのは負担になりますので、周知と併せてスペースの確保等を考えていただければと思います。
事務局	毎年広報5月号で、集団資源回収の年間スケジュールを掲載しております

様式

	<p>のでそちらを排出の目安としていただけたらと思います。</p> <p>また、集団資源回収の会議を年度末に開催していますので、開催時期に偏りがでないよう調整していただくよう案内したいと思います。</p>
委員	<p>時期が重なってしまうと回収量が少なくなってしまいますし、回収に苦慮している団体もあるようなので事務局側でも日程調整をしていただきたいと思います。</p>
事務局	事務局でも日程調整をしたいと思います。
委員	ごみ質分析結果についてですが、どのように割合をだしているのでしょうか。
事務局	容積重量（1m ³ 中のキログラム）としています。
会長	<p>重量があるものを減らしていくことが、一番結果として数字に反映されると考えますので、重量物については事務局で把握をしていただきたいと思います。</p> <p>「本庄はごみの排出量が多い」といった話ができる際に、各家庭から排出される剪定枝や生ごみ等が取り上げられます。各家庭からの排出されるごみの削減に向けた取組について、次回、皆様からご意見をいただけたらと思います。</p> <p>現在、災害ごみについて連日ニュースで報道されていました。気候変動では非常事態宣言をした自治体もありました。また、国連では怒りに震えながら環境問題について訴えた場面もありました。私達が廃棄物の減量の推進に取り組むことがそういった環境問題の解決に繋がると思いますので、皆様から積極的なご意見を頂戴し、取組の結果が数字にも反映されるようにしていきたいと思います。</p>
委員	結果を出すには思い切った施策を実施しなければいけないのでしょうか。例えば、消費税増税に伴い消費マインドが冷え込み、購買量が低下したとの報道がありましたが、同じように指定ごみ袋を値上げすることで各家庭からの排出量が減るのではないかと考えます。地道な取組を続けていくことも大切だと思いますが結果を求めるのであれば、指定ごみ袋の値上げ等の大胆な取組も必要なのでしょうか。
委員	指定ごみ袋の値上げをしてしまったら、反対が起きるのではないかでしょうか。
委員	反対は起きるでしょう。しかし、結果を求めるのであれば、大胆な施策をしないといけないと思います。現在、最終処分場が手狭になり、受け入れ場所が値上げや台数制限・重量制限を実施し、搬入が難しい現状があります。そこに、今回のような災害ごみが大量に発生し、処理センターや最終処分場で受け入れができず八方塞がりのような状況となってしまっていま

様式

	す。
会長	大雪のときもそうでしたが、災害時には多くのごみが排出されますので、撤去する際の置き場や処理の手順等を確立するとともに、普段から減量推進していかなければと思います。 委員さんから意見がでましたが、広域では今年度より搬入ごみの有料化等を実施していますが、ごみ袋の値上げ等について反対意見を含めて皆様と協議してまいりたいと思います。
委員	市が広報しても市民に届かなければ意味がないので、地道な取組を続けていくことも大事ですが、思い切った施策についても実施していただきたいと思います。
会長	何のために減量に取り組んでいるのか理解していただくためにも、市として予算をかけて啓発に取り組んでいただいたり、指定ごみ袋の値上げ等についてもしっかりと考えなければいけない時期にきているのではないかと思います。
委員	指定ごみ袋の値上げを実施するのであれば、ごみの排出に関する利便性の向上等、市が予算を投じて市民に還元できる取組も併せて考えてほしいと思います。
委員	現在、ごみの処分費は増加傾向にあるので、指定ごみ袋の値上げについては今後取り組まなければいけない時期がくると想定されます。したがって今から情報収集等はしていくべきであると思います。
委員	本庄市は県内のごみ排出率は何位でしたか。
事務局	今年は県内 3 位でした。
会長	近隣の自治体もごみの減量化には積極的に取り組んでいます。例えば、熊谷市では、段ボールコンポストや剪定枝の減量など試行錯誤しながら様々な施策に取り組まれているようですので本庄市も積極的に取り組まなければ順位は悪くなる一方です。 本庄市は、SDGs 先進度調査で人口 10 万人未満の都市で 1 位でしたが、環境部門での評価は低かったようです。そういうことも踏まえまして、今後本庄市をアピールしていく中で、環境への取組についても発信していくたいと思います。 また、400 人以上いらっしゃる環境衛生推進員さんについても今後どういったことをやっていただいたらいいか等皆様の積極的なご意見をいただけたらと思います。 他に何かございますか。 思いつきでも良いのでご意見ございましたら事務局までお寄せいただけたらと思います。 他にないようでしたら以上で議事を終了させていただきます。
4. その他	

様式

台風第 19 号による被害等について	
事務局	台風第 19 号による被害等について説明
委員	今回被災した市民の方から、行政の対応が良くなかったと聞いていますので、この場を借りてお伝えさせていただきます。
事務局	今までこのような災害がなかったので対応に遅れが生じてしまいました。今回を教訓として、今後は迅速に対応していきたいと思います。
事務局	他にはご意見等ございますでしょうか。ないようでしたら、以上をもちまして令和元年度第 2 回本庄市廃棄物減量等推進審議会を終了させていただきます。活発なご意見をいただきありがとうございました。

会長 小暮 ちえ子